

共通科目		泌尿器分子生物学特論		開 講	毎年・ 隔年
		Advanced Study & Research for Urological Molecular Biology		区 分	選択
単位	1 単位	科目責任者	中川 徹 教授（板橋・泌尿器）	授業形態	講義・演習

概要	全ての疾患は分子細胞レベルでの異常であり、泌尿器疾患も例外ではない。その解明も日進月歩である。本講義において最新の泌尿器分子生物学を理解する。
到達目標	遺伝子の構造、複製・転写・翻訳に必要な装置とそれらの働き、突然変異と修復、組換え、発現の調節機構、遺伝子産物の分子生物学的作用および生理機能、疾患モデル動物について理解する。新規の分子標的薬のメカニズムについても触れる。
事前事後学修	次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。
評価方法	講義・演習の課題(30%)、演習における報告発表(30%)、レポートの内容(40%)を評価する。
参考書・教科書	講師が作成したスライドをもとに講義を行う。
履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

No.	月 日	時間	講義タイトル	担当者	備考
1			泌尿器分子生物学各論・泌尿器腫瘍とモデル動物	高橋さゆり 講師（板橋・泌尿器）	大学棟本館 1階105教室
2			泌尿器分子生物学総論・腎尿路系の発生および疾患と分子生物学	中川 徹 教授（板橋・泌尿）	〃
3			泌尿器分子生物学各論・泌尿器腫瘍と細胞周期	木村将貴 講師（板橋・泌尿器）	〃
4			泌尿器分子生物学各論・泌尿器腫瘍とシグナル伝達	中川 徹 教授（板橋・泌尿）	〃
5			泌尿器分子生物学各論・泌尿器腫瘍と発癌	高橋さゆり 講師（板橋・泌尿器）	〃
6			泌尿器分子生物学各論・泌尿器腫瘍とアポトーシス	木村将貴 講師（板橋・泌尿器）	〃
7			泌尿器分子生物学各論・腎、尿路上皮癌の分子生物学	中川 徹 教授（板橋・泌尿）	〃
8			泌尿器分子生物学各論・前立腺発生の分子生物学	高橋さゆり 講師（板橋・泌尿器）	〃
9			泌尿器分子生物学各論・排尿分子生物学	高橋さゆり 講師（板橋・泌尿器）	〃
10			泌尿器分子生物学各論・前立腺癌の分子生物学	木村将貴 講師（板橋・泌尿器）	〃
その他の演習・セミナー等		・泌尿器科学演習			

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。